

2009年3月期決算説明会

マテリアルヒューマンテクノロジー

サンコーテクノ株式会社



I. 会社概要

➤ 会社概要

➤ 事業内容

会社概要

(2009年3月31日現在)

社 名 : サンコーテクノ株式会社

本 社 : 千葉県流山市東初石
6-183-1-301

TEL : 04(7178)5535

FAX : 04(7178)5557

<http://www.sanko-techno.co.jp>



代 表 者 : 洞下 実(ほらげ みのる)

設 立 : 1964年5月15日

資 本 金 : 7億68百万円

事 業 内 容 : 建設資材製造業、新事業

連 結 子 会 社 : 国内4社 海外2社

従 業 員 : 連結564名 単独326名

業 界 団 体 : (社)日本建築あと施工アンカー協会(略称:JCAA)

事業内容

売上高の約50%を占めるアンカー群

あと施工アンカーメーカーとして国内最大手

アンカー群 50.9%
(48.7%)

新事業 2.8%

(2.5%)



ドリル群 17.5%
(19.6%)



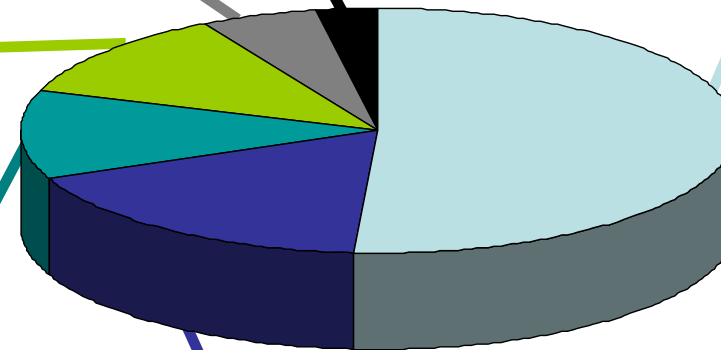
ファスナー群 11.8%
(11.8%)



リニューアル関係
工事請負(管理)
11.7% (12.3%)



その他(新建材等)
5.2% (5.2%)



※()・・・前期決算における売上構成比



Ⅱ.2009年3月期(45期)業績

- 2009年3月期 連結業績サマリー
- 2009年3月期 製品群別業績サマリー
- 製品群別詳細① アンカー・ドリル・ファスナー
- 製品群別詳細② リニューアル
- 製品群別詳細③ その他(新建材)
- 製品群別詳細④ 新事業
- 2009年3月期 販管費サマリー



(単位:百万円)

2009年3月期 連結業績サマリー

	2008年3月期 実績		2009年3月期 計画 (11月7日修正)		2009年3月期 実績		前年同期 比(%)	計画対比 (%)
売上高	16,804	(構成比率) 100%	16,192	(構成比率) 100%	14,872	(構成比率) 100%	▲11.5%	▲8.1%
売上総利益	4,772	28.4%	4,656	28.8%	4,271	28.7%	▲10.5%	▲8.3%
販売管理費	4,283	25.5%	4,274	26.4%	4,006	26.9%	▲6.5%	▲6.3%
	(売上高比率)		(売上高比率)		(売上高比率)			
営業利益	488	2.9%	381	2.4%	264	1.8%	▲45.9%	▲30.8%
経常利益	528	3.1%	410	2.5%	315	2.1%	▲40.2%	▲23.0%
当期純利益	351	2.1%	96	0.6%	▲31	—	—	—
	(1株当たり)		(1株当たり)		(1株当たり)			
配当	40円		40円		40円			

適用初年度のたな卸資産評価損(83百万円)、旧名古屋支店の減損損失(75百万円)を特別損失に計上したことなどにより、純利益は▲31百万円となった。



2009年3月期 製品群別業績サマリー

(単位: 百万円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	前年同期比 (%)
アンカー・ドリル・ファスナー			
売上高	13,443	11,929	▲11.3%
売上総利益	3,994	3,562	▲10.8%
利益率	29.7%	29.9%	+0.2P
リニューアル関係 工事請負(管理)			
売上高	2,060	1,745	▲15.3%
売上総利益	467	421	▲9.8%
利益率	22.7%	24.2%	+ 1.5P
その他			
売上高	881	778	▲11.7%
売上総利益	169	155	▲8.2%
利益率	19.2%	20.0%	+0.8P
新事業			
売上高	419	419	▲0.0%
売上総利益	141	131	▲7.2%
利益率	33.7%	31.3%	▲2.4P



製品群別詳細① アンカー・ドリル・ファスナー

(単位: 百万円)

2008年3月期
実績

2009年3月期
実績

前年同期比
(%)

アンカー・ドリル・ファスナー

売上高	13,443	11,929	▲11.3%
売上総利益	3,994	3,562	▲10.8%
利益率	29.7%	29.9%	+0.2P

アンカー

- ・売上減に対し総利益は微減、利益率に関しては良化
- ・子会社SFT(タイ工場)への生産シフトによる生産効率向上、パーツ安による為替差益

ドリル

- ・子会社(株)IKKの販売不振が響く

ファスナー

- ・住宅着工減が響く 利益率は改善傾向

製品群別詳細② リニューアル

(単位: 百万円)

2008年3月期
実績

2009年3月期
実績

前年同期比
(%)

リニューアル関係 工事請負(管理)

売上高	2,060	1,745	▲15.3%
売上総利益	467	421	▲9.8%
利益率	22.7%	24.2%	+ 1.5P

リニューアル関係

プラス要因

- ・建築耐震補強やトンネル等の補強工事は需要増となり順調に推移
- ・利益率を確保

マイナス要因

- ・一面補強工事や橋梁の補強・補修工事がほぼ一巡→減収減益

製品群別詳細③ その他(新建材)

(単位: 百万円)

2008年3月期
実績

2009年3月期
実績

前年同期比
(%)

その他 (新建材等)

売上高	881	778	▲11.7%
売上総利益	169	155	▲8.2%
利益率	19.2%	20.0%	+0.8P

その他 (新建材等)

プラス要因

- ・国内のガソリンスタンドのタンク補修向けFRP商材は順調に推移
- ・利益率を確保

マイナス要因

- ・マンション需要の低迷による二重床関連商材の落ち込み

製品群別詳細④ 新事業

(単位: 百万円)

2008年3月期
実績

2009年3月期
実績

前年同期比
(%)

新事業

売上高	419	419	▲0.0%
売上総利益	141	131	▲7.2%
利益率	33.7%	31.3%	▲ 2.4P

新事業

プラス要因

- ・第3四半期以降は順調で売上高はほぼ横ばいに推移

マイナス要因

- ・仕入部材の価格高騰が利益を圧迫

2009年3月期 販管費サマリー

(単位:百万円)		2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	前年同期比
販管費		4,283	4,006	▲6.5%
	運賃	402	372	▲7.5%
	貸倒引当金繰入額	0	34	—
	人件費	2,426	2,357	▲2.9%
	減価償却費	84	88	+5.5%
	その他	1,369	1,154	▲15.8%

- ・人件費減(前期比69百万円)
- ・運賃費減(前期比30百万円)
- ・その他経費節減等により前期から277百万円減



Ⅲ. 2010年3月期業績予想と当社戦略

- 2010年3月期 業績予想サマリー
- 2010年3月期 設備投資計画
- 業界動向・当社の取組み①
 - 当社の取組み①ー1 事業部制の導入
 - 当社の取組み①ー2 マーケティング部新設
- 新製品① オールアンカー打込み機
- 業界動向・当社の取組み②(サイレント工法へ注力)
- 新製品② 耐震補強向け製品
- 当社の取組み③ web活用強化

2010年3月期 業績予想サマリー

(単位:百万円)	2009年3月期 実績	2010年3月期予想 上期	2010年3月期予想 下期	通期予想	前年同期比
ファスニング事業部	—	3,967	5,035	9,002	—
D&D事業部	—	1,322	1,457	2,780	—
リニューアル事業部	—	1,000	1,600	2,600	—
その他	—	135	177	312	—
売上高	14,872	6,424	8,271	14,695	▲1.2
営業利益	264	▲48	399	351	33.1
経常利益	315	▲64	374	310	▲1.7
当期純利益	▲31	▲75	200	125	—

- ファスニング : アンカー・ファスナー … 新築市場に向けたアンカーは低迷を予想
耐震関連商品は前年より増加見込み
- D&D : ドリル・電動油圧工具 … 新製品および関連商材の増加を見込む
- リニューアル : 耐震補強・改修工事 … 一面補強は、ほぼ完了。その他耐震工事
および共同工法に関して増加見込む
- その他 : プリント基盤 … 上期低迷も下期に鉄道関連の受注増見込む

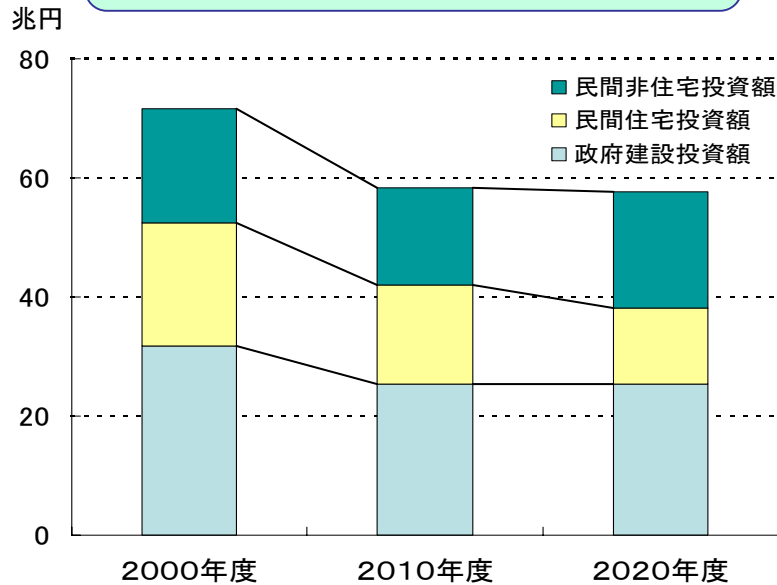
2010年3月期 設備投資計画

	08/3期 (実績)	09/3期 (実績)	10/3期 (計画)
設備投資金額	769百万円	528百万円	140百万円
減価償却費	332百万円	276百万円	250百万円

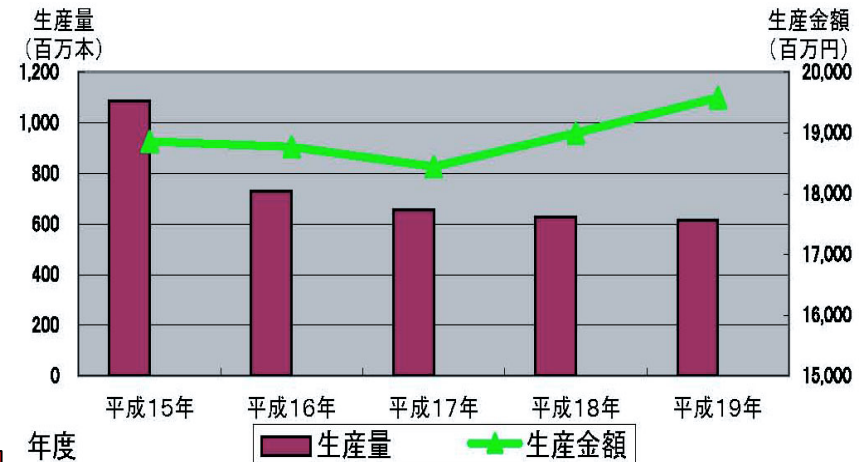
09/3期		10/3期	
事業所(名古屋・南流山)新築・改修工事	362百万円	事業所工事・改修費	82百万円
工場設備機器	27百万円	工場設備機器	43百万円
IKK設備機器他	8百万円	SFT設備機器他	15百万円

業界動向・当社の取組み①

建設市場の総体的な縮小



成熟市場としてのあと施工アンカー



当社の取組み

- ・事業部制の導入
- ・マーケティング部の新設

新製品

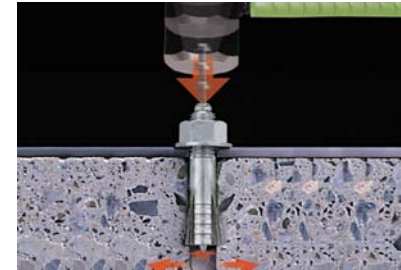
So-Da



当社の取組み①ー1 事業部制の導入

- ファスニング事業部

⇒あと施工アンカー・ファスナー



- D & D事業部

⇒ドリルビット、(株)IKK電動油圧工具



- リニューアル事業部

⇒耐震補強工事受注、改修向け製品



目的 ⇒ **成長性・収益性の追求**

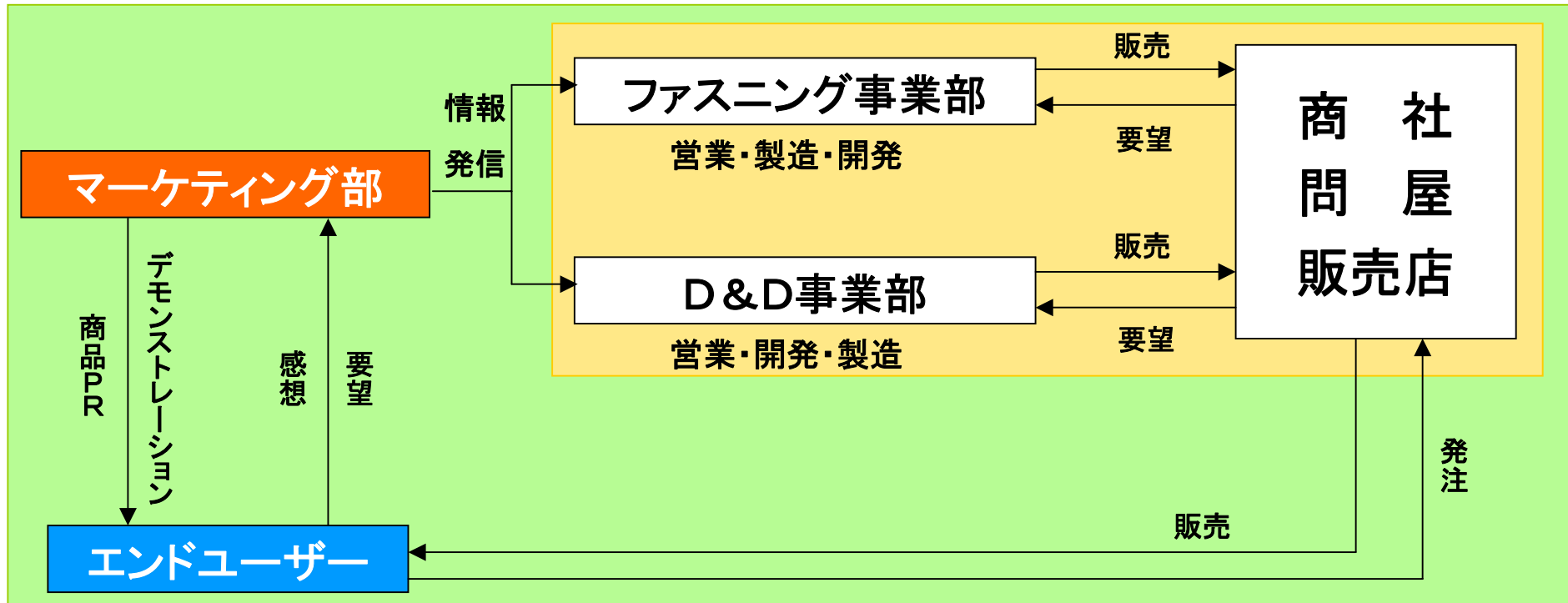
開発・製造・販売の一貫した取組みを各事業部へ集約
事業部毎に権限と責任を委譲



当社の取組み①-2 マーケティング部新設

マーケティング部の役割

⇒エンドユーザーへのダイレクトマーケティングを実施



- ・顧客ニーズ・ウォンツの吸い上げ→開発、営業へ展開(情報の共有化・スピード伝達)
- ・新製品 (So-Da、サイズミックコアドリル、テクノテスターAT-200) デモ実演

新製品① オールアンカー打込み機

So-Da

(株)IKKとの共同開発

当社製あと施工アンカーの拡販
シェア拡大を狙う

【特長】

1. 確実

アンカー施工品質の一定化が図れる

2. 簡単・早打

太径アンカーも短時間での施工が可能

3. サイレント

ハンマーを使用しないので金属打撃音がない



天井施工も楽々

業界動向・当社取組み②(サイレント工法へ注力)

耐震補強ニーズの高まり

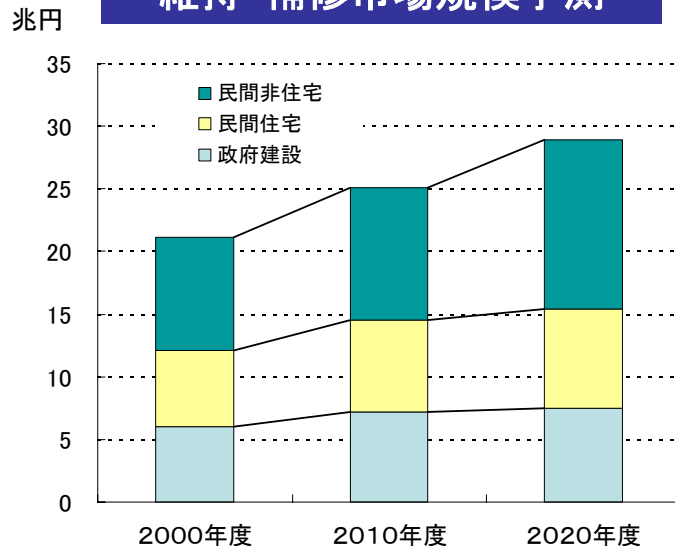
学校の耐震補強後は、
病院や民間施設(オフィスビル)
の耐震へ...

入院しながら働きながらの
「居ながら耐震」のニーズが拡大



低振動、低騒音、少臭、少粉塵の
「サイレント工法」が今後の主流に！

維持・補修市場規模予測



出典: 建設経済研究所資料



建物耐震補強の一例

新製品② 耐震補強向け製品

(株)IKKとの共同開発

サイズミックコアドリル



【特長】

1. 低騒音・低振動での孔あけが可能
2. 湿式により、リサイクル(水循環)・少粉塵



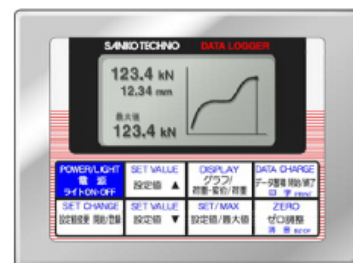
サイレント工法に最適

耐震補強工事に特化した

引張荷重確認試験機

【特長】

1. 軽量化
2. 多彩なグラフ測定
3. 見やすい画面表示



テクノテスターAT-200(6月発売)

当社の取組み③ web活用強化

- 製品情報ページを新設(4月1日)
 - － 製品カタログ
 - － 技術資料
 - － あと施工アンカー施工動画
- 「あと施工アンカー設計ガイド」を公開
(5月15日)
 - － あと施工アンカー選定の手引書

⇒ 顧客視点にたったwebサイトを展開
 会員制で顧客の囲い込みを行う



製品情報ページ



ご清聴ありがとうございました。

- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2009年5月29日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

マテリアルヒューマンテクノロジー

サンコーテクノ株式会社